

今、知っておきたい！ ここまで来た！創薬モダリティー

～ 製薬企業にとって魅力的な研究とは？～

日時：2019年10月30日（水）17:00 – 19:00

場所：京都大学医薬系総合研究棟

1階アウトリーチエリア（建物番号 68）

製薬企業が大学研究者に求める研究シーズは、創薬ターゲット分子だけではありません。過去には、低分子化合物が薬の大半を占めていましたが、現在はこれにとどまらず、**ペプチド（中分子）、抗体、核酸、細胞治療**といった、様々な治療薬の形態「モダリティー」が登場してきております。これらの新しいモダリティーを活用する事で、薬剤を特定の細胞に届けて効率的に効果を発揮させたり、従来では制御が困難であった疾患も治療が可能となる等、製薬企業は革新的な技術を求めており、皆さんの研究が新規性の高い治療薬、治療技術につながる可能性があります。

創薬モダリティーとは何か、製薬企業が求める創薬モダリティーはどのようなものなのか、この機会に是非、皆さまに知っていただきたいと思っています。
もしかしたら自分の研究が創薬に応用できるかも知れないと思われる方も、ご参加をお待ちしております。

17:00	開会挨拶	「医学領域」産学連携推進機構 寺西 豊
17:05	「産学連携におけるギャップ」	第一三共株式会社 研究開発本部 研究統括部研究企画G 主査 藤澤 道雄 氏
17:35	「創薬モダリティー開発で求められている技術革新」	第一三共株式会社 バイオロジクス本部 モダリティー研究所 所長 高橋 亘 氏
18:35	フリーディスカッション	
18:55	閉会挨拶	「医学領域」産学連携推進機構 寺西 豊

☆ 参加希望者は、右のQRコードよりお申し込みください（締切：10月18日（金）17:00）

<https://forms.gle/r6CnPNSQLHJwFukd6>

※ 登録者数が多数となった場合には、先着順として制限させて頂く可能性がございます。どうぞご了承ください。

【本セミナーに関するご質問、お問い合わせ先】

京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構（鈴木・野田）

E-mail: mi@kumbl.med.kyoto-u.ac.jp TEL: 075-366-7429（内線：病院19-7429）

